

令和7年7月25日

第2学年の保護者の皆様

苫小牧市立勇払中学校長 新倉 順治

令和7年度苫小牧市統一学力検査の結果等について

盛夏の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御清栄のことと拝察申し上げます。

また、日頃から本校の教育活動に対しまして、御理解と御協力をいただき感謝申し上げます。

さて、4月17日（木）に実施しました苫小牧市統一学力検査の個人票（結果）につきましては、過日、お子さんを通して、各御家庭に配付したところですが、このほど本校の結果と考察がまとまりましたので、次のとおりお知らせします。

記

1 検査の概要

(1) 実施日

令和7年4月17日（木）

(2) 調査対象

市内中学校第2学年

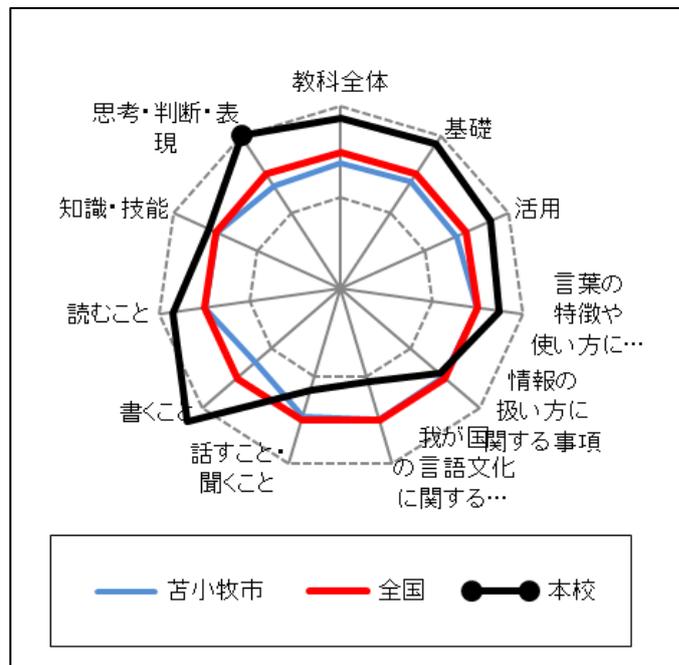
(3) 検査内容等

- ① 国語科及び数学科の2教科の学力検査を実施（出題範囲は前学年の学習内容）
- ② 標準学力調査（目標準拠評価方式）を実施

2 本校の結果と考察

(1) 国語科

- ① 各カテゴリー別における正答率の全国との比較（全国平均を50とした場合の標準スコアで比較）

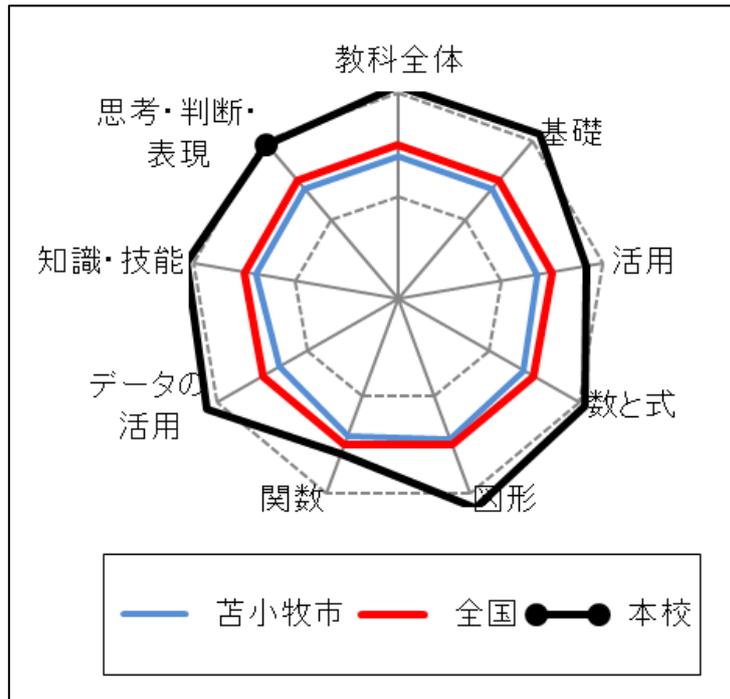


② 考察

- ◎ 特定の領域に課題はみられるものの、全体としてはおおむね良好といえる。
- ◎ 領域別に見ると「読むこと」「書くこと」は良好だが、「話すこと・聞くこと」「我が国の言語文化に関する事項」に課題が見られる。
- ◎ 学力向上に向けた取り組み
(学校) 「漢字・語句」「歴史的仮名遣い」の問題に課題が見られたため、反復学習や小テストを多く取り入れ、知識の定着を目指します。
(家庭) 家庭学習では漢字練習や文法の復習など知識事項を定着させると共に、読解力や記述力を高めることを意識して、ワークを繰り返し学習するように伝えています。

(2) 数学科

① 各カテゴリー別における正答率の全国との比較（全国平均を50とした場合の標準スコアで比較）



②考察

○全国平均を大きく上回っています

○問題の内容では、「関数」に課題があるといえそうです。

○学力向上に向けて

【学校】 授業では、1年生の振り返りから、既習事項の確認、1年生との違いなどを確認してから2年生の内容を扱うようにしています。「関数」では、式・表・グラフの関係を意識して、変化の仕方などに着目し、ポイントを整理し、自分で考える場面、互いに教え合う場面を設定していきます。

【家庭】 家庭学習では、授業でやった内容をその日のうちに復習するように指導しています。この期間に復習することが長期記憶に繋がっていきます。また、ワークに取り組む際には、参考書を作るつもりで、空いている部分に大事な内容や間違えた理由などを記入することも重要です。2回、3回とやり直し、何も見なくても全問正解できるようになるまで繰り返し取り組むことを意識して家庭学習に取り組むように伝えています。